

## ■今月の特選句

2021年7月



## ソフトクリームむかしのかほでなめている

大林和代

ソフトクリームでタイムスリップ。昔の顔になって舐めているという表現がいい。まさに童心である。子どもの頃のよき時代に戻れる小道具だね。



## 草取りの庭は土俵よ待ったなし

吉川正紀子

庭の雑草は抜いても抜いてもすぐに生えてくる。追っかけっこで、一時も油断できない。相撲の待ったなしに掛けた発想がいいね。



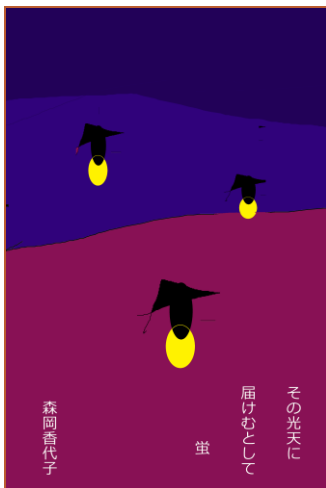
## 根っからの無党派ばかり葱坊主

鈴木和枝

葱坊主は一本気とも無邪気ともいえる。集団ではいるが、それぞれ独立していて集団に頼ってもいない。餓鬼大将になるというのが夢。

## ■今月の特選句

2021年7月



## その光天に届けむとして蛍

森岡香代子

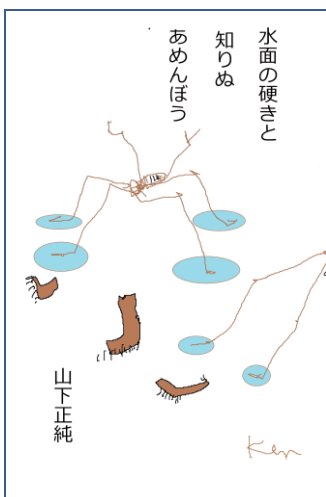
蛍の光は実に幻想的である。光を天に届けるために高上りしているのだと思い込む純粋がいい。佳句には詩があるが、やはり童心は名句の源だね。



## 燕の巢中古物件そこここに

井野ひろみ

燕は古い巢を再利用することも多い。ところが昨今、空き物件が多い。燕が少なくなっている。住宅の構造が変わり、巢の建材の泥土も減った。



## 水面の硬きと知りぬあめんぼう

山下正純

あめんぼうの足には細かい毛がたくさんあり、油がついているので水をはじいて沈まない。正純君も足に油を塗って水面を歩いてみるといいね。